

	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	スポーツ・インテグリティ推進事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 西川由香
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第2条、第3条、第5条、第15条			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 持続可能な国際競技力向上プラン(令和3年12月27日策定) 障害者スポーツ振興方策に関する検討チーム報告書(令和4年8月9日策定) スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン(平成30年12月20日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	スポーツ界における透明性、公平・公正性の確保はスポーツ活動の基盤であり、国民・社会がスポーツの価値を十分に享受するためには、我が国のスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツを推進していく必要がある。 本事業の実施により、ガバナンス確保に向けたスポーツ団体の主体的な取組を推進するとともに、スポーツを行う者の権利利益の保護を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	スポーツ界においては、令和元年に策定したスポーツ団体ガバナンスコードに基づく競技団体の適合性審査やスポーツ仲裁活動の推進、また、競技団体の組織基盤強化の取組等を通じて、スポーツ・インテグリティの確保に向けて一体的に取り組んできた。 しかしながら、依然としてスポーツ団体ガバナンスコードに基づく各競技団体の取組は十分とは言えず、スポーツの価値を脅かす不祥事が発生している状況であることから、スポーツ・インテグリティの確保に向けて更なる取組が必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	(1) 令和5年度に行うスポーツ団体ガバナンスコードの見直しを踏まえ、コード本来の趣旨・目的や見直し内容に関して、競技団体向けの研修会やオンライン研修動画資料の作成等を行う。 (2) スポーツにおける紛争の早期解決や競技者の権利保護を図るため、スポーツ仲裁の理解増進に向けた研修会及び国内のスポーツ仲裁活動における中核的人材の育成を実施する。 (3) 競技団体における女性役員の比率を向上させるため、女性役員登用モデルプログラムを構築するとともに、競技団体向けの説明会を実施する。 (4) 競技団体間の連携・統合に向けた環境を整備するため、競技団体へのヒアリング等による調査を行うとともに、連携・統合のメリット等を可視化したロジックモデルを作成する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	48	44	43.6	43.6	43.6
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	48	44	43.6	43.6	43.6	
	執行額(G)		43	13	34.9		
	執行率(%) =(G)/(F)		90%	30%	80%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		90%	30%	80%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			-		
	(目)	スポーツ振興事業委託費	43	43			
	(目)	諸謝金	0.3	0.3			
	(目)	庁費	0.2	0.2			
	(目)	委員等旅費	0.1	0.1			
		その他	0	0			
	計(A)		43.6	43.6			

活動内容① (アクティビティ)		令和5年度に行うスポーツ団体ガバナンスコードの見直しを踏まえ、コード本来の趣旨・目的や見直し内容に関して、競技団体向けの研修会やオンライン研修動画資料の作成等を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		スポーツ団体ガバナンスコードに関する競技団体役職員の研修機会の確保	競技団体役職員向け研修会の開催数(オリ・パラ毎にそれぞれ1度ずつ開催予定)	活動実績	団体	-	-	-	-	-
				当初見込み	団体	-	-	-	2	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	競技団体役職員が研修会に参加することにより、コード本来の趣旨・目的や見直し内容についての理解が深まる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		スポーツ団体ガバナンスコードに関する競技団体役職員の理解増進	アンケートにおいて「理解が深まった」と回答する競技団体の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		スポーツ・インテグリティ推進事業(スポーツ団体のガバナンス強化の推進)成果報告書								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	スポーツ団体ガバナンスコードに関する理解が深まることにより、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守に向けた競技団体の取組が加速するとともに、取組内容がより実効的なものとなる。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		スポーツ団体ガバナンスコードの遵守に向けた競技団体の取組の加速・実効化	スポーツ団体ガバナンスコードの適合性審査二巡目において「要改善事項」無しの「適合」評価を受ける競技団体の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		統括団体によるスポーツ団体ガバナンスコードの適合性審査二巡目の結果								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	スポーツ団体ガバナンスコードの遵守に向けた競技団体の取組が進むことにより、スポーツ界における不祥事が未然に防止される。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		スポーツ界における不祥事の未然防止の実現	スポーツ政策の推進に関する円卓会議に報告される不祥事事案の件数	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	0	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「スポーツ政策の推進に関する円卓会議」での報告結果								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		スポーツにおける紛争の早期解決や競技者の権利保護を図るため、スポーツ仲裁の理解増進に向けた競技団体向け研修会及び国内のスポーツ仲裁活動における中核的人材の育成を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		スポーツ仲裁に関する競技者・競技団体役職員の研修機会の確保	競技者・競技団体役職員向け研修会等の開催数(R5当初見込みはR2～R4の平均値)	活動実績	回	8	13	9	-	-
				当初見込み	回	10	10	10	10	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	競技団体役職員が研修会等に参加することにより、スポーツ仲裁についての理解が深まり、スポーツ団体における自動応諾条項採択に向けた意識が醸成され、自動応諾条項を採択する競技団体が増加する。 目標最終年度の10年度に100%を達成できるよう1年度3.66%ずつ段階的に引き上げることとし、令和5年度は令和4年度より4ポイント増加させることを目指す。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度	
		自動応諾条項を採択する競技団体の増加	競技団体の自動応諾条項採択率	成果実績	%	60	76	78	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		(公財)日本スポーツ仲裁機構による調査結果								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		競技団体役職員等向けの研修機会を確保することで、自動応諾条項を採択する競技団体の増加に直接結びつくため。								

活動内容③ (アクティビティ)		競技団体における女性役員の比率を向上させるため、競技団体のお手本となる女性役員登用モデルプログラムを構築するとともに、競技団体向けの説明会を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		競技団体への女性役員登用参考モデル及び情報の提供	女性役員登用モデルプログラムの作成数	活動実績	回	-	-	-	-	-
				当初見込み	回	-	-	-	1	-
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	競技団体へ女性役員登用参考モデルを提供することにより、競技団体が持つ女性役員登用に対する障壁が緩和され、競技団体向け説明会に参加する団体が増加する。 短期アウトカムの目標値は、参加団体数の過去最高値である27団体とする。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		女性役員登用に対する競技団体の障壁緩和	競技団体向け説明会等の参加団体数	成果実績	団体	7	26	23	-	
				目標値	団体	-	-	-	27	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		スポーツ・インテグリティ推進事業(スポーツ団体における女性役員の育成・マッチング支援)成果報告書								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	競技団体が研修会に参加することにより、女性役員登用にに向けた道筋を具体的にイメージできるようになり、女性役員の目標割合を設定する競技団体が増加する。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		女性理事の目標割合を設定する競技団体の増加	スポーツ団体ガバナンスコードに基づく自己説明において、外部理事・女性理事の目標割合を設定している団体の割合	成果実績	%	-	-	34	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		統括団体によるスポーツ団体ガバナンスコードの適合性審査二巡目の結果								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	競技団体による目標設定が進むことにより、目標達成に向けた競技団体の取組が推進される。 長期アウトカムの目標値は、第5次男女共同参画基本計画において定められている「スポーツ団体の女性理事の割合」の目標値である40%とする。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		スポーツ団体における女性理事の割合が40%まで向上	スポーツ団体における女性理事の割合	成果実績	%	-	23.2	24.9	-	
				目標値	%	40	40	40	40	
				達成度	%	-	58	62.3	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		『女性の政策・方針決定参画状況調べ』 ※(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会及びその加盟・承認・準加盟団体が調査対象(10月1日現在)。 ※令和2年度以前は、調査対象に日本パラスポーツ協会及びその加盟団体が含まれていなかったため、令和2年度成果実績値は記載しない。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容④ (アクティビティ)		競技団体間の連携・統合に向けた環境を整備するため、競技団体へのヒアリング等による調査を行うとともに、連携・統合のメリット等を可視化したロジックモデルを作成する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		競技団体への連携・統合ロジックモデルの提供	連携・統合のメリット等を可視化したロジックモデルの作成数	活動実績	個	-	-	-	-	-
				当初見込み	個	-	-	-	1	-
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	連携・統合のメリット等を可視化したロジックモデルを競技団体へ提供することで、連携・統合に向けた阻害要因が減少したと感じる競技団体が増加する。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		連携・統合の検討に向けた競技団体の障壁緩和	アンケートにおいて、「連携・統合に向けた阻害要因が減少した」と答えるパラ団体の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		スポーツ・インテグリティ推進事業(スポーツ団体間の連携・統合に向けた環境整備)成果報告書								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	連携・統合に向けた障壁が緩和されることで、連携・統合を検討する競技団体が増加する。 令和3年度にスポーツ庁において実施したアンケート調査において、オリ団体と連携・統合しておらず、検討もしていないパラ団体は14団体あることが判明した。そのため、目標年度までに全てのパラ団体が連携・統合に向けた検討を一度は行うことを目指す。ただし、同じ競技のオリ団体が無いパラ団体については除外する。								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		連携・統合を検討する競技団体の増加	アンケートにおいて、「オリ団体との連携・統合に向けた検討を行っていない」又は「行ったことがない」と答えるパラ団体の数	成果実績	団体	-	-	-	-	
				目標値	団体	-	-	-	0	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		スポーツ・インテグリティ推進事業(スポーツ団体間の連携・統合に向けた環境整備)成果報告書								
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	連携・統合に向けて検討する競技団体が増加することで、実際に連携・統合する競技団体が増加する。 令和3年度にスポーツ庁において実施したアンケート調査において、オリ団体と連携・統合しているパラ団体は30団体あり、3つのパラ団体がオリ団体との連携・統合を検討中であることが判明した。そのため、目標年度までに連携・統合に向けて検討中の3つのパラ団体が実際の連携・統合に至ることを目指す。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		連携・統合する競技団体の増加	オリ団体と連携・統合しているパラ団体の数	成果実績	団体	-	-	-	-	
				目標値	団体	-	-	-	33	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		スポーツ・インテグリティ推進事業(スポーツ団体間の連携・統合に向けた環境整備)成果報告書								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	第5次男女共同参画基本計画	
	URL	https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/index.html	
	該当箇所	第7分野 生涯を通じた健康支援	
事業所管部局による点検・改善			
点検結果	本事業は、スポーツ基本法に基づくスポーツ基本計画にその必要性が明記されており、政策の優先度が極めて高く、国民や社会のニーズを反映したものである。また、令和元年に策定したスポーツ団体ガバナンスコードは令和5年度に見直しを行うこととしているため、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守に向けて今後も継続的に事業を実施していく必要がある。 課題としては、委託事業の契約に関して一者応札・応募となっている事業があることが挙げられる。		目標年度における効果測定に関する評価（令和6年度実施）
			－
改善の方向性	委託事業について、一者応札とならないよう公募期間を十分に確保するとともに、各種ネットワークを用いて公募を周知するなどの工夫を行う。		
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見			
事業内容の一部改善	この事業は、一者応札・応募となった契約があることから、原因を分析し、具体的かつ実効性のある取組を行い、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。また、アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討されたい。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	スポーツ仲裁業務の特殊性に鑑み、随意契約事前確認公募を実施を検討するなど、調達方式の見直しを図る。アウトカムの複数設定については、事業の特性上難しいと考えている。		
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ		
	－		
	上記への対応状況		
	－		
	その他の指摘事項		
	－		
	上記への対応状況		
	－		
備考			
成果物の公表URL:https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop10/list/1404865.htm			

関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度	-																										
平成24年度	-																										
平成25年度	-																										
平成26年度	-																										
平成27年度	-																										
平成28年度	新29-0043																										
平成29年度	35																										
平成30年度	340																										
令和元年度	文部科学省	-			0333																						
令和2年度	文部科学省				0331																						
令和3年度	2021	文科	20	0354																							
令和4年度	2022	文科	21	0359																							



